



2024年6月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社W TOKYO 上場取引所 東
コード番号 9159 URL <https://www.w-tokyo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 村上 範義
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼経営戦略統括局長 (氏名) 藤本 冬海 TEL 03-6419-7165
定時株主総会開催予定日 2024年9月27日 配当支払開始予定日—
有価証券報告書提出予定日 2024年9月30日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期の業績（2023年7月1日～2024年6月30日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	3,957	9.4	508	△21.3	496	△20.0	327	△19.4
2023年6月期	3,616	75.1	645	587.0	620	605.8	406	215.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	123.20	116.21	22.4	16.0	12.8
2023年6月期	165.59	146.68	45.4	22.1	17.8

(参考)

(%表示は、対前期増減率)

	調整後営業利益		調整後当期純利益	
	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	671	△17.0	463	△14.5
2023年6月期	809	214.1	542	85.3

当社は、経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標として、調整後営業利益、調整後当期純利益を採用しております。なお、各指標については、後述の「※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項（サマリー情報の参考についてのご注意）」をご覧ください。

- (注) 1. 当社は、2023年6月29日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2023年6月期末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
2. 当社は、2023年2月6日開催の取締役会決議により、2023年3月4日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。そのため、2023年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	3,098	1,652	53.3	610.24
2023年6月期	3,122	1,270	40.7	490.93

(参考) 自己資本 2024年6月期 1,652百万円 2023年6月期 1,270百万円

(注) 当社は、2023年2月6日開催の取締役会決議により、2023年3月4日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。そのため、2023年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	187	△27	△200	1,930
2023年6月期	864	46	55	1,971

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年6月期	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年6月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年6月期の業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,192	5.9	557	9.7	549	10.8	358	9.5	132.50

（注）当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期	2,707,260株	2023年6月期	2,588,000株
② 期末自己株式数	2024年6月期	43株	2023年6月期	—株
③ 期中平均株式数	2024年6月期	2,658,934株	2023年6月期	2,453,918株

（注）当社は、2023年3月4日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。2023年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しています。

（サマリー情報の参考についてのご注意）

当社は、経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標として、調整後営業利益、調整後当期純利益を採用しております。これらの指標は、当社のTOKYO GIRLS COLLECTIONというブランド価値を活用した社会への価値提供の程度、また当社における経営の効率性を測るためのものとして適切であると考えております。

（調整後利益の計算方法）

調整後営業利益＝営業利益＋のれん償却額＋商標権償却額

調整後当期純利益＝税引前当期純利益＋のれん償却額＋商標権償却額－想定税金費用（※1）

※1 想定税金費用＝法人税、住民税及び事業税＋法人税等調整額＋商標権償却額×実効税率（課税所得が発生する場合）

（事業計画及び成長可能性に関する説明資料）

2023年8月14日に開示いたしました「事業計画及び成長可能性に関する説明資料」では、次回開示予定を2024年8月としていましたが、2024年9月に開示を行う予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	1
(1) 当期の経営成績の概況	1
(2) 当期の財政状態の概況	1
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(表示方法の変更)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社では、2023年9月及び2024年3月に「TOKYO GIRLS COLLECTION」(以下、「TGC」という)を開催し、高ランクの協賛企業及び出展アパレルブランドの増加や来場者チケットの完売等により収益性の向上に注力いたしました。また、2023年10月に「TGC 北九州 2023」、2024年1月に「TGC しずおか 2024」、2024年2月に「TGC 和歌山 2024」、2024年4月に「TGC 熊本 2024」を実施いたしました。このほか東京都江戸川区、福井県鯖江市、神奈川県湯河原町等に対するシティプロモーションや、TGCで培った発信力を活かしたプロデュース事業も引き続き実施しております。この結果、TGCプロデュース領域の売上高は2,949百万円(前年同期比11.3%増)となりました。

その他、アーティスト・タレントのキャスティングとクリエイティブ制作を組み合わせた顧客の商材のブランディングによる売上の契約件数が増加いたしました。また、株式会社大創産業とのコラボレーション商品のラインナップが増え、商品開発に基づくロイヤリティの受領も一層増加しております。この結果、コンテンツプロデュース・ブランディング領域の売上高は942百万円(前年同期比8.4%増)となりました。

なお、サービス領域別の状況は次のとおりであります。

サービス領域別売上高

サービス領域	2023年6月期 (前事業年度)		2024年6月期 (当事業年度)		前事業年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
TGCプロデュース領域	2,650百万円	73.3%	2,949百万円	74.5%	299百万円	11.3%
コンテンツプロデュース・ブランディング領域	869	24.0	942	23.8	72	8.4
デジタル広告領域	96	2.7	65	1.7	△30	△32.0
合計	3,616	100.0	3,957	100.0	341	9.4

しかしながら、制作業界の人手不足や人件費の上昇、物価の高騰により、売上原価の上昇が急速に進んだものの、サービスによっては売上高への転嫁をしきれていないことから売上原価率が上昇しました。また、既存従業員の賃金ベースアップの実施、中途採用の拡大により中長期的な事業成長を見据えて人的資本投資に注力したことを中心に、販売費及び一般管理費が増加しました。

以上の結果、当事業年度の経営成績は、売上高3,957百万円(前年同期比9.4%増)、営業利益508百万円(同21.3%減)、経常利益496百万円(同20.0%減)、当期純利益327百万円(同19.4%減)となりました。

また、当社は、経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標として、調整後営業利益、調整後当期純利益を採用しております。これらの指標は、当社のTOKYO GIRLS COLLECTIONというブランド価値を活用した社会への価値提供の程度、また当社における経営の効率性を測るためのものとして適切であると考えております。

(調整後利益の計算方法)

調整後営業利益＝営業利益＋のれん償却額＋商標権償却額

調整後当期純利益＝税引前当期純利益＋のれん償却額＋商標権償却額－想定税金費用(※1)

※1 想定税金費用＝法人税、住民税及び事業税＋法人税等調整額＋商標権償却額×実効税率(課税所得が発生する場合)

当事業年度の調整後営業利益は671百万円(前年同期比17.0%減)、調整後当期純利益は463百万円(同14.5%減)となりました。なお、調整後営業利益、調整後当期純利益については、PwC Japan有限責任監査法人の監査を受けておりません。

当社は、ブランディングプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載はしておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における総資産は、前事業年度末と比較して24百万円減少し、3,098百万円となりました。これは主に、当第4四半期に納品した大型イベント制作売上の計上等による売掛金及び契約資産141百万円の増加及び、商標権90百万円、のれん72百万円の償却によるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債合計は、前事業年度末と比較して405百万円減少し、1,446百万円となりました。これは主に、当第4四半期に納品した大型イベント制作に係る外注費の計上等による買掛金167百万円の増加及び、長

期借入金（1年内返済予定を含む）238百万円の返済による減少、履行義務の充足に伴う前受金130百万円の取り崩しによる減少、前事業年度の法人税等の納付189百万円及び当事業年度の法人税等の未払計上73百万円による未払法人税等115百万円の減少によるものであります。

（純資産）

当事業年度末における純資産は、前事業年度末と比較して381百万円増加し、1,652百万円となりました。これは主に、新株予約権の行使による資本金27百万円及び資本剰余金27百万円の増加、当期純利益327百万円の計上によるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ40百万円減少し、当事業年度末には1,930百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は187百万円（前事業年度は864百万円の獲得）となりました。これは主に、税引前当期純利益496百万円の計上（前事業年度は税引前当期純利益619百万円の計上）、非資金取引である減価償却費21百万円の計上（前事業年度は21百万円の計上）、商標権償却額90百万円の計上（前事業年度も同額の計上）、のれん償却額72百万円の計上（前事業年度も同額の計上）、法人税等260百万円の支出（前事業年度は531百万円の支出）、売上債権141百万円の増加（前事業年度は34百万円の減少）、仕入債務167百万円の増加（前事業年度は96百万円の減少）、前受金130百万円の減少（前事業年度は7百万円の減少）等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は27百万円（前事業年度は46百万円の獲得）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出18百万円（前事業年度は有形固定資産の取得による支出2百万円）、投資有価証券の取得による支出14百万円（前事業年度は支出なし）等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は200百万円（前事業年度は55百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出238百万円（前事業年度は長期借入金の返済による支出164百万円）、新株予約権の行使による株式の発行による収入54百万円（前事業年度は新株予約権の行使による株式の発行による収入11百万円、公募増資による株式発行による収入331百万円）によるものであります。

（4）今後の見通し

当社は、今後の成長戦略として①TOKYO GIRLS COLLECTIONのブランド力の強化、②TGC地方開催及びシティプロモーションへの横展開、③TGCのブランド力やノウハウを活かしたコンテンツプロデュース・ブランディング領域への展開、④Web3領域の発展を掲げ、持続的な成長を目指してまいります。

2025年6月期は、2回の「TOKYO GIRLS COLLECTION」を実施する計画に加え、これまでも取引実績のある自治体のみならず、今後新たな連携を図る自治体とも、TGC地方開催やシティプロモーションを計画しております。具体的には、2024年7月に「TGC MATSUYAMA 2024 by TOKYO GIRLS COLLECTION」を実施したことに加え、2024年9月に「第39回 マイナビ 東京ガールズコレクション 2024 AUTUMN/WINTER」、2024年10月に「CREATEs presents TGC KITAKYUSHU 2024 by TOKYO GIRLS COLLECTION」、2025年1月に「SDGs推進 TGC しずおか 2025 by TOKYO GIRLS COLLECTION」の開催を予定しております。その他、タレントキャスティングとクリエイティブ制作を組み合わせた顧客の商材のブランディング案件や、TGCのブランド価値を活かしたロイヤリティを受領する案件の継続的な受注も見込んでおります。

当社が属するサービス業・広告業においては、人件費や制作原価などのコストの上昇が続くことが想定されます。提供するサービスの付加価値を一層向上させ、物価の高騰を踏まえた価格設定やメニュー設計による上昇を見込んでおります。

これらの事業展開を踏まえ、2025年6月期の業績予想は、売上高4,192百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益557百万円（同9.7%増）、経常利益549百万円（同10.8%増）、当期純利益358百万円（同9.5%増）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は各事業の進捗等に応じて予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び国内企業間の比較可能性を考慮し、日本基準を採用し財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当事業年度 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,971,202	1,930,521
売掛金及び契約資産	195,806	337,557
商品	255	52
仕掛品	8,444	38,736
前渡金	105,366	77,766
前払費用	17,586	12,967
その他	328	40,808
貸倒引当金	△2,961	△6,544
流動資産合計	2,296,030	2,431,866
固定資産		
有形固定資産		
建物		
建物	12,799	14,705
減価償却累計額	△3,929	△5,023
建物(純額)	8,869	9,682
工具、器具及び備品		
工具、器具及び備品	9,886	15,647
減価償却累計額	△5,867	△6,853
工具、器具及び備品(純額)	4,018	8,793
リース資産		
リース資産	44,435	44,435
減価償却累計額	△33,190	△41,128
リース資産(純額)	11,245	3,307
建設仮勘定	-	16,500
有形固定資産合計	24,132	38,283
無形固定資産		
のれん		
のれん	230,374	157,624
商標権		
商標権	452,914	362,034
ソフトウェア		
ソフトウェア	33,336	23,256
無形固定資産合計	716,624	542,915
投資その他の資産		
投資有価証券		
投資有価証券	0	14,000
関係会社株式		
関係会社株式	0	0
出資金		
出資金	10	500
長期前払費用		
長期前払費用	2,118	2,126
繰延税金資産		
繰延税金資産	26,049	11,675
その他		
その他	57,607	56,797
投資その他の資産合計	85,784	85,098
固定資産合計	826,542	666,297
資産合計	3,122,572	3,098,164

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当事業年度 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	71,298	239,197
1年内返済予定の長期借入金	146,521	112,113
リース債務	12,029	5,012
未払金	38,038	44,918
未払費用	6,043	9,057
未払法人税等	189,441	73,446
前受金	269,093	138,700
預り金	3,679	5,661
賞与引当金	34,443	16,669
その他	89,135	17,867
流動負債合計	859,724	662,644
固定負債		
長期借入金	987,303	783,470
リース債務	5,012	-
固定負債合計	992,315	783,470
負債合計	1,852,040	1,446,114
純資産の部		
株主資本		
資本金	211,525	238,564
資本剰余金		
資本準備金	211,525	238,564
その他資本剰余金	312,185	312,185
資本剰余金合計	523,710	550,749
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	535,297	862,873
利益剰余金合計	535,297	862,873
自己株式	-	△136
株主資本合計	1,270,532	1,652,049
純資産合計	1,270,532	1,652,049
負債純資産合計	3,122,572	3,098,164

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
売上高	3,616,175	3,957,772
売上原価		
商品期首棚卸高	3,677	255
当期製品製造原価	2,019,158	2,437,128
当期商品仕入高	5,383	3,697
合計	2,028,219	2,441,081
商品期末棚卸高	255	52
売上原価	2,027,964	2,441,028
売上総利益	1,588,211	1,516,743
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	259,976	284,545
貸倒引当金繰入額	-	3,582
賞与引当金繰入額	34,443	16,669
業務委託費	124,891	115,983
減価償却費	21,400	21,977
商標権償却額	90,879	90,879
のれん償却額	72,749	72,749
長期前払費用償却	1,076	1,126
その他	337,395	401,186
販売費及び一般管理費合計	942,812	1,008,700
営業利益	645,398	508,042
営業外収益		
受取利息	11	17
受取手数料	90	48
債務勘定整理益	187	-
その他	6	90
営業外収益合計	295	156
営業外費用		
支払利息	7,174	8,526
遅延利息	1,522	-
上場関連費用	14,635	-
支払保証料	1,532	3,164
その他	269	321
営業外費用合計	25,134	12,012
経常利益	620,559	496,187
特別損失		
投資有価証券評価損	1,028	-
特別損失合計	1,028	-
税引前当期純利益	619,531	496,187
法人税、住民税及び事業税	173,794	154,237
法人税等調整額	39,390	14,374
法人税等合計	213,184	168,611
当期純利益	406,346	327,575

製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)		当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 経費	※	2,021,445	100.0	2,467,420	100.0
当期総製造費用		2,021,445	100.0	2,467,420	100.0
期首仕掛品棚卸高		6,158		8,444	
合計		2,027,603		2,475,864	
期末仕掛品棚卸高		8,444		38,736	
当期製品製造原価		2,019,158		2,437,128	

(注) ※ 主な内訳は以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (千円)	当事業年度 (千円)
外注費	1,476,127	1,893,923
出演料	441,481	451,219

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、個別原価計算による実際原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	40,000	40,000	312,185	352,185	128,951	128,951	521,136	521,136
当期変動額								
新株の発行	165,600	165,600		165,600			331,200	331,200
新株予約権の行使	5,925	5,925		5,925			11,850	11,850
当期純利益					406,346	406,346	406,346	406,346
当期変動額合計	171,525	171,525	-	171,525	406,346	406,346	749,396	749,396
当期末残高	211,525	211,525	312,185	523,710	535,297	535,297	1,270,532	1,270,532

当事業年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本							株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	211,525	211,525	312,185	523,710	535,297	535,297	-	1,270,532
当期変動額								
新株予約権の行使	27,039	27,039		27,039				54,078
当期純利益					327,575	327,575		327,575
自己株式の取得							△136	△136
当期変動額合計	27,039	27,039	-	27,039	327,575	327,575	△136	381,517
当期末残高	238,564	238,564	312,185	550,749	862,873	862,873	△136	1,652,049

	純資産合計
当期首残高	1,270,532
当期変動額	
新株予約権の行使	54,078
当期純利益	327,575
自己株式の取得	△136
当期変動額合計	381,517
当期末残高	1,652,049

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	619,531	496,187
減価償却費	21,400	21,977
商標権償却額	90,879	90,879
長期前払費用償却額	1,076	1,126
のれん償却額	72,749	72,749
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	3,582
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,425	△17,773
受取利息	△11	△17
支払利息	7,174	8,526
遅延利息	1,522	-
上場関連費用	14,635	-
投資有価証券評価損益(△は益)	1,028	-
売上債権の増減額(△は増加)	34,057	△141,751
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,135	△30,088
前渡金の増減額(△は増加)	39,813	27,599
前払費用の増減額(△は増加)	△6,607	4,323
長期前払費用の増減額(△は増加)	△502	366
仕入債務の増減額(△は減少)	△96,486	167,899
未払費用の増減額(△は減少)	2,088	2,608
未払金の増減額(△は減少)	△5,120	4,396
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	15,649	△9,540
前受金の増減額(△は減少)	△7,580	△130,393
預り金の増減額(△は減少)	491	1,981
その他	54,312	△119,068
小計	873,659	455,569
利息の受取額	11	17
利息の支払額	△7,061	△7,824
遅延利息の支払額	△1,522	-
法人税等の還付及び還付加算金の受取額	1	-
法人税等の支払額	△531	△260,691
営業活動によるキャッシュ・フロー	864,557	187,071
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	-	△14,000
投資有価証券の売却による収入	-	0
有形固定資産の取得による支出	△2,627	△18,949
無形固定資産の取得による支出	△10,950	-
長期前払費用の取得による支出	-	△1,500
補助金の受取額	60,000	7,500
その他	-	△490
投資活動によるキャッシュ・フロー	46,422	△27,439

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	-
長期借入金の返済による支出	△164,445	△238,241
株式の発行による収入	331,200	-
上場関連費用の支出	△10,652	△3,982
新株予約権の行使による株式の発行による収入	11,850	54,078
リース債務の返済による支出	△12,029	△12,029
その他	-	△137
財務活動によるキャッシュ・フロー	55,923	△200,312
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	966,903	△40,681
現金及び現金同等物の期首残高	1,004,299	1,971,202
現金及び現金同等物の期末残高	1,971,202	1,930,521

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社が有している子会社が利益基準及び利益剰余金基準からみて重要性が乏しい非連結子会社のみであるため記載しておりません。

(表示方法の変更)

(損益計算書)

前事業年度において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「支払保証料」は、金額的重要性が増したため、当事業年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の損益計算書の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた1,532千円は、「支払保証料」として組替えております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、ブランディングプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度（自 2022年7月1日 至 2023年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	TGCプロデュース領域	コンテンツプロデュース・ブランディング領域	デジタル広告領域	合計
外部顧客への売上高	2,650,101	869,534	96,539	3,616,175

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	韓国	シンガポール	中国	米国	合計
3,241,164	351,424	13,850	5,000	4,736	3,616,175

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	TGCプロデュース領域	コンテンツプロデュース・ブランディング領域	デジタル広告領域	合計
外部顧客への売上高	2,949,606	942,507	65,657	3,957,772

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	韓国	シンガポール	中国	米国	合計
3,529,387	418,422	-	-	9,961	3,957,772

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するサービス名
tirtir, Inc	418,422	TGCプロデュース領域、コンテンツプロデュース・ブランディング領域

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当社は、ブランディングプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり純資産額	490.93円	610.24円
1株当たり当期純利益	165.59円	123.20円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	146.68円	116.21円

(注) 1. 当社は、2023年6月29日に東京証券取引所グロス市場に上場したため、前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から当事業年度の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2. 当社は、2023年2月6日開催の臨時取締役会の決議に基づき、2023年3月4日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり当期純利益		

当期純利益(千円)	406,346	327,575
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	406,346	327,575
普通株式の期中平均株式数(株)	2,453,918	2,658,934
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	316,355	159,970
(うち新株予約権(株))	(316,355)	(159,970)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

5. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2023年6月30日)	当事業年度 (2024年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	1,270,532	1,652,049
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,270,532	1,652,049
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	2,588,000	2,707,217

(重要な後発事象)

該当事項はありません。